

平成23年度指導室事業の取り組みを紹介します

市教育委員会では各学校の特色を生かし、児童・生徒の学習や活動を充実させ推進していくために、工夫を凝らした学校教育を進めています。本市の教育目標である「自ら学び、知を創造する人間」「豊かな心と人間性を高めていく人間」「たくましく成長する人間」「粘り強く行動し、実現する人間」などを柱に据え、小・中連携教育の推進を図りつつ、「学力の向上」「豊かな学力の伸長を図る」「体力の向上」「豊かな心の育成」のバランスを取りながら事業を行っています。なお、今年度は特に「学力の向上」「豊かな学力の伸長を図る」に重点を置いていきます。詳しくは指導室☎470・7781へ。

学力の向上 確かな学力の伸長を図る

《児童・生徒の学力実態の把握》
 ◎ 文部科学省による調査
 (全国学力・学習状況調査)
 : 震災のため中止 ◎ 東京都教育委員会による調査(児童・生徒の学力向上を図るための調査) 対象は全小・中学校の小5・中2 ◎ 市教育委員会による調査(確かな学力の伸長を図るための調査) : 対象は全小・中学校の小5・中1・中3
 《学習指導の補助、教育活動充実のための人材配置》
 ◎ 学力向上指導員として市

の嘱託職員を派遣 ◎ 教育活動協力者としてゲストティーチャー及び学生等を派遣 ◎ 英語講師として英語活動支援講師及び外部委託講師(A・L・T)を配置
 《理科教育の充実》
 ◎ CST(コア・サイエンス・ティーチャー)を活用した理科教育にかかわる指導力向上事業(第二小学校が理科教育支援拠点校) ◎ 理科支援員の活用
 《特別支援教育の充実》
 ◎ 「個別の教育支援計画」策定の推進 ◎ 「個別適応計画書」の活用 ◎ 校内の特別支援教育コーディネーターの育成 ◎ 近隣特別支援学校との副籍事業の推進

《職場体験の推進》(中学校)
 ◎ 3日間以上の職場体験活動や職場訪問の推進
 《体力の向上》
 《児童・生徒の体力実態の把握》
 ◎ 文部科学省・東京都の体力テストと連携した実態調査は震災のため中止 ◎ 東京都児童・生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査(全小・中学校)

《豊かな心の育成》
 《スクールカウンセラー配置事業》
 ◎ 小学校13校(第一小・第二小・第三小・第四小・第五小・第六小・第七小・第九小・第十小・山小・神宝小・南町小・本村小)▼中学校全7校(久留米中・東中・西中・南中・大門中・下里中・中央中)
 ◎ 中央・滝山相談室、学習適応教室との連携の強化
 《学校サポートチームの設置》
 ◎ 問題行動への効果的な対応と未然防止
 《スクールソーシャルワーカー活用事業の推進》
 ◎ 学校問題の未然防止と関連連携機関との連携
 《教員研修の体系化…充実したOJTを目指して》
 日常的な職務を通じて、必要な知識や技能、意欲、態度徹底、保護者へ

《情報モラル教育の推進》
 ◎ 情報の活用とモラル教育の徹底、保護者へ

《情報モラル教育の推進》
 ◎ 情報の活用とモラル教育の徹底、保護者へ

校 ◎ 市教育委員会による調査(小5・小6、中1)
 《体育巡回実技研修の実施》
 ◎ 市内の教員が講師となり全小学校で実施 ◎ 小学校体育巡回実技研修運営委員会
 《中学生「東京駅伝」への参加》
 ◎ 市内中学2年生選抜による連合チームの編成
 《東京都スポーツ教育推進校》
 ◎ 第六小学校・第十小学校・南町小学校
 《自然体験活動の充実》
 ◎ 小学校：移動教室(小6) 群馬県榛名湖畔 ◎ 中学校：スキー教室(中1) 長野県菅平ほか
 《セーフティ教室・薬物乱用防止教室の実施》
 ◎ 薬物乱用防止や不審者対応など、警察とした連携した安全教育の実施

《3か年計画による小・中連携教育の推進》【3年次】
 ◎ 平成23年度力リキユラムの作成・検証(小学校新学習指導要領のスタート) ◎ 平成24年度中学校新学習指導要領のスタート
 《開かれた学校づくり・学校評価の推進》
 ◎ 特色ある学校づくりの推進 ◎ 学校授業一斉公開日は11月5日(土)。教科授業4時間 ◎ 外部評価の実施、学校評価結果の公表
 《環境教育の充実》
 ◎ 全小・中学校対象環境教育推進月間(6月・11月・2月)
 《授業改善推進プランの作成》
 ◎ 毎年見直し、すべての教科で作成 ◎ 児童・生徒・保護者への周知と指導の実施 ◎ 学校ホームページ上での公開
 《授業改善研究会の充実》
 ◎ 市内小・中学校全教員が参加する悉皆研修 ◎ 小・中学校別の教科・領域を合わせて14の部会 ◎ 研究授業を中心とした小学校5回、中学校6回の部会
 《新学習指導要領への移行》
 ◎ 教育課程の編成に関する研究(教務主任会)
 《連合行事の充実》
 ◎ 音楽鑑賞教室(小・中)
 ◎ 連合音楽会(小) ◎ 連合作品展、書写展(小・中)

の啓発 ◎ 情報モラル・セキユリティ担当者の設置
 市教育センターの組織強化

◎ 学校支援室の充実 ◎ 学習適応教室指導員の学校派遣事業 ◎ 情報教育支援員の学校派遣事業 ◎ 教育相談事業の充実

◎ 情報モラル教育の徹底、保護者へ

◎ 情報モラル教育の徹底、保護者へ

◎ 情報モラル教育の徹底、保護者へ

の啓発 ◎ 情報モラル・セキユリティ担当者の設置
 市教育センターの組織強化

◎ 学校支援室の充実 ◎ 学習適応教室指導員の学校派遣事業 ◎ 情報教育支援員の学校派遣事業 ◎ 教育相談事業の充実

◎ 情報モラル教育の徹底、保護者へ

◎ 情報モラル教育の徹底、保護者へ

◎ 情報モラル教育の徹底、保護者へ

◎ 情報モラル教育の徹底、保護者へ

◎ 情報モラル教育の徹底、保護者へ

生涯学習センターの愛称が「まるにえホール」に決まりました!

4月1日から、生涯学習センターに愛称がつけられました。愛称を決めるに当たって、「生涯学習センター愛称選考会」の委員6名(生涯学習センター利用者懇談会委員2名、関係行政機関職員2名、指定管理者の職員2名)により、応募総数55件の中から「まるにえホール」と決定しました。5月29日(日)、まるにえホールのロビーで「東久留米市立生涯学習センター愛称セレモニー」を開催しました。馬場市長から、「まるにえホール」と命名された富岡紀美子さんに、表彰状と副賞である市の特産物が贈られました。なお、選考理由は次のとおりです。



写真は恒例行事の「市民つなひき大会」の様子

(1) 生涯学習センター前の並木通りである道路「まるにえ富士見通り」をイメージしている (2) マロニエの木はフランスのパリをはじめ、ヨーロッパの都市の街路樹として有名で、日本が西洋から積極的に学び、アジアでいち早く近代化を果たした歴史を想起させ、学習の場として相応しい響きがある (3) 「まるにえ」の言葉自体の持つ「やさしさ」「エキゾチック」な印象は、生涯学習センターを利用するあらゆる世代の方に愛称として受け入れやすいと考えられる。

生涯学習センターは、これからも「まるにえホール」の愛称で皆さんに親しんでいただき、より一層、ご利用いただきたいと思います。

また、同日、まるにえホールで、「みんなでチャリティーを楽しんで、ひがしくるめから盛り上げよう」と銘打って、「東日本大震災支援イベントコンサート&チャリティーマーケット」が開催されました。「みんなのクラシックコンサート」「ロビーコンサート&パフォーマンス」など多くの催しが企画されました。あいにくの雨模様ではありましたが、多くの方にご来館いただきました。少しでも被災地の皆さんの助けになるようにという、多くの方の思いが感じられた一日となりました。

イベントの主な目的は義援金を募ることでしたが、701,649円ものご協力をいただくことができました。義援金は東久留米市を通じ東北地方太平洋沖地震義援金として寄付させていただきました。詳しくは生涯学習課生涯学習係☎470・7784へ。



写真は恒例行事の「市民つなひき大会」の様子



写真は恒例行事の「市民つなひき大会」の様子

平成22年度スポーツセンターの利用実績のお知らせ

スポーツセンターが指定管理者制度に移行後、指定管理期間の最終年度である平成22年度の利用状況等をお知らせします。年中無休、平日夜11時までの開館、夏季期間中朝6時からの早朝開館、送迎用マイクロバスの運行、回数券・定期券の発行、各種レッスンなど、指定管理者特有のサービスが行われました。

〈施設別利用者数〉 第1体育室 (83,639人) ▼ 第2体育室 (10,109人) ▼ 第3体育室 (22,177人) ▼ 第1武道場 (19,561人) ▼ 第2武道場 (20,465人) ▼ 弓道場 (7,497人) ▼ トレーニング室 (77,445人) ▼ プール (100,960人) ▼ 会議室・研修室 (19,863人) ファミリースポーツ室 (9,682人)の合計371,398人 〈各種レッスン参加者数など〉 エアロピクスやヨガ等のスタジオレッスン、スイミングやアクアエクササイズ等のプールレッスンの開催回数3,131回、参加人数6万248人。

なお、平成23年4月1日から5年間の指定管理者は、「共同事業体・東京ドームグループ」が引き続き指定されました。教育委員会では、より多くの市民が気軽にスポーツに親しむ場としてのスポーツセンターが機能するよう、民間事業者のノウハウを生かした施設管理運営やスポーツ教室などのサービス向上と一層のコスト削減に努めていきます。詳しくは生涯学習課スポーツ振興係☎470・7784へ。